

# パソコンでの遠隔操作が 可能となる 「リモートデスクトップ」とは？

リモートデスクトップを使えば、社外から会社のパソコンにアクセスして仕事を行うことができます。セキュリティの面でも安心で、簡単に使えるリモートデスクトップの利用法を紹介します。

テクニカルライター  
小野 均

R E M O T E

自宅や外出先から会社のパソコンにアクセスし、手元にあるパソコンやスマートフォン、タブレット端末を使って会社のパソコンを操作する機能が「リモートデスクトップ」です。

メリットは、会社のパソコン、あるいはクラウド上のデータを手元の機器に転送する必要がなく、情報漏えいのリスクを低減できる点です。書類作成等の作業はすべて、会社のパソコン上で完結しますので、操作する側の機器にソフトやアプリをインストールする必要はありません。

また、無料サービスがありますし、有料サービスでも比較的安価に導入できるというメリットもあります。

デメリットは、インターネット回線を使って操作するため、動作が遅くなってしまう点です。たとえば文字入力をするとき、キーを押してから文字が表示されるまでにタイムラグが生じる、といった具合です。

留意点は、会社のパソコンを起動させておく必要があること。社内の人にがいれば、必要に応じて起動してもらえそうですが、そうでないときには常時起動させてお

くことになります。

遠隔操作でパソコンの電源をオンにする「Wake-on LAN (WOL)」という機能もありますが、起動させたいパソコンがWOLに対応している必要があります。社内専用の機器を設置しなければなりません。

専用の機器を使わず、既存の通信機器の設定を変更する方法もありますが、設定の難易度が高いうえにセキュリティリスクが高まるので、おすすめできません。

なお、専用の機器は遠隔PC電源管理装置などと呼ばれ、「RemoteWOL2」のような製品があります。機器代が4万円(税込み)程度で、システム利用料が月額1210円(税込み)から。リモートデスクトップの利用頻度が高く、パソコンがWOLに対応しているのなら、導入を検討してもよいでしょう。



無料で使える  
リモートデスクトップ

リモートデスクトップには無料と有料のサービスがありますが、本稿では無料サービスを紹介いたします。Windows10 (Home 以外)

図表1 リモートデスクトップを有効にする



会社側のパソコンの「設定」→「システム」→「リモートデスクトップ」でリモートデスクトップを有効にする

このように、VPNを使  
っていない企業の場合はコ  
ストと手間がかかることか  
ら、VPNが導入済みであ  
れば「リモートデスクトッ  
プ」の利用が最も手軽でお  
すすめの方法です。  
VPNを使っていない場  
合は、「Chrome リモート  
デスクトップ」がおすすめ  
です。遠隔操作したいパソ  
コン側でブラウザソフトの

に標準装備されている「リモート  
デスクトップ」や、グーグルの  
「Chrome リモートデスクトップ」  
などです。  
「リモートデスクトップ」は、  
標準装備なので会社側のパソコン  
で機能を有効にするだけですぐに  
使えます（図表1）。  
遠隔操作する側の Windows パ  
ソコンは「リモートデスクトップ  
接続」という標準装備のソフト、  
iPhone や iPad なら「Microsoft  
リモートデスクトップ」、  
Android 端末は「Remote  
Desktop」というアプリで会社の  
パソコンを遠隔操作します。  
ただし、会社の外から遠隔操作

するには、工夫が必要です。  
方法は2つあり、1つは社内の  
通信機器とパソコンの設定を変更  
することです。しかしこれは、前  
述のW o l lと同様に難易度が高  
く、セキュリティリスクが高まる  
のでおすすめてできません。  
もう1つは、「VPN（Virtual  
Private Network＝仮想専用線）」  
を導入する方法です。VPNは、  
外出先と会社を物理的な専用回線  
で結ぶのではなく、インターネッ  
ト回線を使って仮想的に専用回線  
を構築する機能です。  
費用は、初期費用や通信機器代  
金、機器の設置費用などを含める  
と最低でも5万円程度から。環境  
によって、費用は加算され  
ます。

「Chrome」に機能を追加して利  
用します。社外からのアクセスに  
はインターネット回線を使うの  
で、既存の自宅のWi-Fiやモバイ  
ル通信を使えば初期費用や利用料  
はかかりませんし、追加で機器を  
導入する必要もありません。  
なお、リモートデスクトップ機能  
は外部から社内へのアクセスな  
ので、使用前には必ず、社内で確  
認をして許可を得てください。

## Chrome リモート デスクトップの使い方

「Chrome リモートデスクトッ  
プ」は最も手軽に利用できるの  
で、設定と使い方を詳しく解説し  
ます。

まずは、遠隔操作される社内の  
パソコンに「Chrome」（[https://  
www.google.com/intl/ja.jp/  
chrome/](https://www.google.com/intl/ja.jp/chrome/)）をインストールし、  
Google アカウントでログインし  
ます。

ログイン後、「remotedesktop.  
google.com/access」を開きまし  
ょう。「リモートアクセスの設定」  
項の右下に下向き矢印のダウンロ  
ードボタンがあるのでクリックし  
てダウンロードしてください。

ダウンロードが完了すると、自  
動でウェブストアのページが開く  
ので、「Chrome に追加」ボタン  
をクリック。確認の画面で「拡張  
機能を追加」をクリックします。  
画面に「インストールの準備完  
了」と表示されたら、「同意して  
インストール」をクリックしま  
す。確認の画面で「はい」をクリ  
ックします。

「ユーザーアカウント制御」画  
面で「はい」をクリックすると  
「名前の選択」画面になります。  
これは、遠隔操作するパソコンの  
名前なので、「会社のパソコン」  
など、わかりやすい名前にしてお  
きましょう。名前を入力したら  
「次へ」をクリックします。

次に、PINコードを設定しま  
す。これは、アクセス時に入力す  
るもので、不正アクセスを防止す  
るための重要なコードです。誕生  
日のような類推されやすい組合せ  
を避け、6桁以上の数字を設定し  
てください。設定したら、「起動」  
ボタンをクリックします。

このとき、「パスワードを保存  
しますか?」と表示される場合、  
セキュリティ面を考慮して「使用  
しない」を選んでおきましょう。  
画面に、先ほど設定したパソコ

ンの名前が表示されたら、設定は完了です（図表2）。

遠隔操作時、パソコンを起動させておく必要はありますが、Chromeは終了させておいて構いません。

次に、社外からの遠隔操作の方法です。

パソコンの場合は、「Chrome」を利用しましょう。起動して、遠隔操作したいパソコンと同じGoogleアカウントでログインしてください。ログインしたら、「remotedesktop.google.com/

access」を開きます。

設定したパソコンの名前が表示されるのでクリック。「PINを入力」と表示されたら、設定したPINコードを入力して「Enter」キーを押します。Chromeの画面内に遠隔操作したいパソコンのデスクトップ画面が表示され、手元のマウスとキーボードで遠隔操作ができます（図表3）。

Chromeの画面右側中央にある「>」ボタンをクリックするとオプションの設定画面が開き、画面の表示方法を変更することも可能

です。

遠隔操作の終了は、Chromeを終了させるだけです。

遠隔操作は、スマートフォンやタブレットからでもできます。iPhone・iPadはApp Storeから、Android端末はGoogle Playから「Chrome リモート デスクトップ」をインストールしてください。起動して遠隔操作したいパソコンと同じGoogleアカウントでログインすると、遠隔操作したいパソコンの名前が表示されます。タップしてPINコードを入力すると、画面全体にパソコンのデスクトップ画面が表示されます。

iPhone・iPadは、マウス操作を画面タッチで行ないます。また、画面右下にある青色のボタンをタップすると、キーボードを表示させることができます。

Android端末の場合は、画面上にマウスカーソルが表示され、画面をドラッグすることでカーソル

を移動してタップで実行するカーソルモードになっています。画面の下端から上方向にスワイプ（指を画面に置いたまま移動）すると上部にメニューが表示されます。マウスボタンをタップするとタッチ操作ができるようになり、キーボードボタンをタッチするとキーボードが表示されます（動作検証は「Pixel5」を使用）。

なお、スマートフォンは画面サイズが小さく、操作性はよくありません。作業ができないわけでは

ありませんが、10インチ程度のタブレットかパソコンの利用がおすすめです。

実際に使ってみて、より多機能が必要なら、有料サービスを検討しましょう。有料サービスは多数ありますが、導入が容易で、比較的低コストであることから「TeamViewer」や「Splashop」といったサービスが人気です。

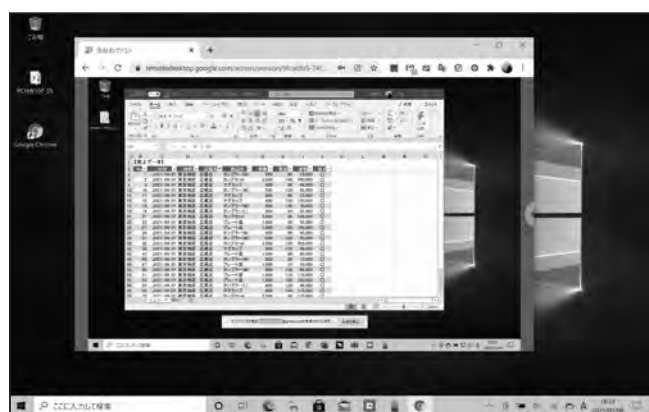
リモートデスクトップは、外部から社内へのアクセスになるので、セキュリティ面には十分に注意する必要があります。そのうえでしっかりと活用すれば、リモートワークでの業務推進において強力なツールになることでしょう。ぜひ、体験してみてください。▲

図表2 設定したパソコンの名前が表示される



遠隔操作したいパソコン側で「Chrome」の設定を完了する

図表3 遠隔操作したいパソコン画面が表示される



「Chrome」の画面内に会社のパソコンのデスクトップ画面が表示される

おのひとし編集プロダクション勤務を経て、フリーライターとして独立。現在は、パソコン、インターネット、スマホ、タブレット操作の解説記事を中心に、様々なメディアで幅広く執筆活動を行なう。